

AJU自立の家

楽しくなければ福祉じゃない
COEXIST

お問い合わせ

サイト内検索

検索

トップ

AJU
自立の家とは

イベント情報

AJUが
あなたにできること

福祉ホーム
サマリアハウス

デイセンター
サマリアハウス

わだち
コンピュータハウス

ヘルプステーション
マイライフ 各支所

福祉用具貸与事業所
車いすセンター

自立生活
情報センター

ピア名古屋

居宅介護支援事業所
ほかっと軒

名古屋マック

後援会

AJU
車いすセンター

障害者110番

アジア障害者
支援プロジェクト

災害時要援護者
支援プロジェクト

リサイクル情報

AJU出版物のご案内

AJU自立の家

後援会

TOP

役員紹介

主催行事

会員募集

寄贈等

お問い合わせ

ウェルフェア・コンサート

第18回(2009年)出演者プロフィール

菅原 洋一 ヴォーカル



兵庫県加古川市出身・国立音楽大学声楽専攻科卒業

'67年 "知りたくないの" 大ヒット。NHK紅白歌合戦初出場。(22回連続)

'68年 "誰もいない" 日本レコード大賞・歌唱賞受賞。

'70年 "今日でお別れ" 日本レコード大賞ほか各賞を独占受賞。

'75年 "乳母車" 東京音楽祭・歌唱賞受賞。

'77年 「第11回リサイタル」で芸術祭参加。優秀賞受賞。

'78年 "歌手生活20周年記念アルバム"で日本レコード大賞顕彰。

'82年 アルバム"ホテル"で日本レコード大賞企画賞受賞。

'88年 歌手生活30周年記念リサイタルを日本6都市、ロサンゼルスにて開催。

同年9月にはソウルオリンピック前夜祭「ソウルソングフェスティバル'88」に日本代表として出演。

'92年 郷里加古川市より第1回加古川市民文化賞受賞。

'98年 歌手生活40周年記念アルバム"うたたね"を発表。

'01年 アルゼンチン建国記念日を祝い「タンゴ・フェスタ2001」開催。

'04年 「歌声をいかに楽しみたいですか」にこだわり、ピアノ伴奏のみの最小限の音飾で演奏するニュークラシカルコンサートを展開。現在はライフワークとなっている。

'05年 ニュークラシカルコンサートの内容をそのままスタジオ録音盤にした作品集"ニュークラシカルコンサート～日本の唄～"を発表。

'06年 "ニュークラシカルコンサートVol.2～世界の唄～"を発表。

'07年 シングル"ありがとう、ごめんね"を発表。"ニュークラシカルコンサートVol.3～父と子の唄～"を発表。

'08年 歌手生活50周年記念アルバム"独唱"を発表。新曲"見知らぬ国へ"収録。

神津 善行 お話



麻布学園、国立音楽大学器楽科卒業。作曲を信時潔氏に、トランペットを中山富士雄氏に師事。交響詩・「月山」、小交響詩・「依代」など、映画音楽、歌謡曲、「ママ横をむいてて」、「星空に両手を」、「新妻に捧げる歌」など合わせて350曲近い作品を作

講演会・講座案内

所在地案内

リンク

曲する。また、「音楽の落とし物」、「ぼくの英才教育」、「浪曲の音楽的考察」、「植物と話がしたい」等の著書や、「人間と音との関係」、「胎教原理」、「音色論」、「楽器性格論」、「植物発信波概論」、等の専門研究論文を発表し、「音楽裏論」音と人間の関係、植物発信音とは、会話と音程、「体験的教育論」自分の子供をどう育てたか等の講演も行う。古楽器集団「六華仙」を結成。植物発信音との競演をテーマに国内・海外公演などの音楽活動を行っている。現在、東京交響楽団理事、早稲田大学理工学部特別研究員。

中村 メイコ 司会



作家故・中村正常の長女として東京に生まれる。'57年作曲家・神津善行と結婚。長女・十月(カンナ)、次女八月(はづき)、長男・善之介(よしのすけ)の一男二女の母。

2歳8ヶ月のとき『P・C・L映画』(現・東宝)の「江戸っ子、健ちゃん」のフクちゃん役でデビュー。

1983年第34回NHK放送文化賞、2000年日本文芸大賞エッセイ奨励賞、2005年松尾芸能賞演劇優秀賞 等々を受賞。

女優として現在も活躍中。NHKテレビ 朝のテレビ小説「さくら」「風のハルカ」大河ドラマ「篤姫」他、テレビ・ラジオ・舞台 多数出演中。著書として「夫とふたりきり！これはもう恐怖です」青春出版「老妻からのラブレター・老いてほどほど」家の光協会「人間の記録(めいこめい伝)」日本図書センター 他多数。

山下 淳 ピアノ



尚美音楽院にてジャズ理論専攻。

作・編曲を金子晋一氏に師事。

劇団、舞踊、パントマイム等の音楽を多数製作。

グラシエラ・スサーナとともにアルゼンチンにて公演。

その他、多くのアーティストのサポートメンバーとしてレコーディング等に参加。

2000年以降は、アルゼンチンタンゴの演奏にも力を入れている。

昨年発表された菅原洋一「タンゴコラソン」では、全曲、編曲と演奏を担当している。

小野 照彦 ベース



1954年 東京渋谷出身。兄の影響で9才頃からギターなど楽器に親しみ始め仲間とグループを作り、エレキ、ベースを担当し、高校在学中よりベテランバンドに混じってアルバイトも始めた。卒業後、ウッドベースにも興味を持ち、柴田恒夫氏に実技、荒川康夫氏に理論を習う。20代はジャズクラブ「アフター6」を中心にサー・チャールズ・トンプソン、レッド・リチャーズ、ジーン・ロジャースほか沢山のアメリカのピアニストのグループでジャズのスピリッツを学ぶ。30代ではフリーのミュージシャンとなり、様々な活動を開始する。この頃来日中のスコット・ハミルトンとも共演をした。

現在は、鈴木正男とスウィング・タイムなどのフルバンドや、歌手の菅原洋一氏、旗照夫氏、しばたはつみさんなどのサポートとしても活躍。若手では鈴木重子さんや小林桂君などのステージにも参加。

宮本 一 キーボード



桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業。

作・編曲家、ピアニスト、キーボーディストとしてスタジオを中心に活動を開始、現在に至る。



舞台・TV等様々な場での作・編曲、演奏の他、菅原さんを始め、小原乃梨子、鳳蘭、倍賞千恵子、江原啓之、和央ようか各氏など、数々の歌手・役者さん達のステージをサポートしている。

桑山 哲也 アコーディオン



1972年札幌生まれ。10代から札幌でプロ活動をはじめ。1996年に初めて渡仏、シャルトル・アコーディオン・フェスティバルへ最年少で出演。
2000年からは本格的なソロ活動をはじめ、情感あふれる表現力と抜きん出たテクニックで多くのファンを獲得。
2006年には6枚目のアルバム「JOY」をエイベックス・イオより発売した。

桑山哲也の演奏するアコーディオンは、ボタン鍵盤式で、その中でもベルギー配列の楽器であり、この種類のアコーディオンを演奏するのは、現在、日本において桑山哲也ただ一人である。

田尻ストリングスアンサンブル ストリングス

[第17回](#) ← [出演者紹介] → [第19回](#)

お知らせ

- ・
- ・
- ・

AJU自立の家 法人本部

〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

 お問い合わせ

